



※おすすめ度は当社比のため、ご使用状況により当てはまらない場合があります

出入口の捕虫は万全ですか？ おすすめの大型捕虫器をご紹介します

心地よい気候になって、窓を開けて過ごすことも増えてきたのではないのでしょうか。虫が増えてくるこれからの季節に、外に繋がる出入口や窓を開けていると、虫が入ってきてしまうため、一般のご家庭では網戸や虫よけグッズなどで対策しているところが多いかと思えます。工場などでは出入口に捕虫器を置いて対策している場合が多いですね。しかし、建物の内部に比べて虫の多い出入口では小型の捕虫器では力不足なことも。捕獲が追いつかず頻繁な捕虫紙交換などで手間になっていませんか？そんな時、大型の捕虫器なら、小型のものに比べて捕虫力も高く、内部への虫の侵入を減らすのに効果的です。

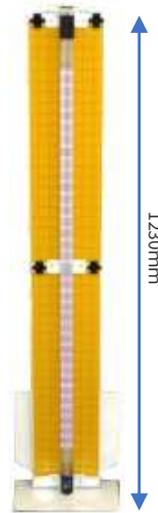
現在、大型の捕虫器もLED化が進んでいます。

しかし大型捕虫器は幅をとるため、設置場所によっては作業の邪魔になってしまったり、固定が大掛かりで大変なものもあったり値段や性能だけでは決められないものです。弊社では、お客様それぞれの状況にあった捕虫器を現場で直接、設置からメンテナンスまでサポートいたします。今回は3種類の大型LED捕虫器をご紹介します。

【R3-LED40】

シンプルな構造で、大型捕虫器の中でもお手頃価格。軽量なため固定は壁にビス止めでOKです！捕虫紙は交換しやすい紙タイプ。どの大型捕虫器が迷ったらこちらがおすすめ！

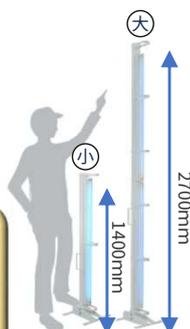
捕虫力 : ★★★
本体価格 : ★★★★★
ランニングコスト : ★★★
設置のしやすさ : ★★



【捕虫ポール大】

全長最大2700mmの超大型LED捕虫器！とにかく捕虫力抜群です！

捕虫力 : ★★★★★
本体価格 : ★★
ランニングコスト : ★
設置のしやすさ : ★



【バグキーパー】

吸引式捕虫器で、捕獲した虫は専用ネットに溜まる仕組み。捕獲した虫が見えないため、見た目がキレイ！キャスター式で移動も簡単です！！

捕虫力 : ★★
本体価格 : ★
ランニングコスト : ★★★★★
設置のしやすさ : ★★★★★



今月の豆知識

春のイメージカラーはあの厄介者の影響かも？

「春色」と聞いてどんな色を連想しますか？明るいピンクや薄い黄緑、淡い水色など、パステルカラーとよばれるやさしくて明るい印象の色を連想する方が多いのではないのでしょうか。桜や若葉など季節に芽吹く植物の印象が強いかもしれませんね。また、「春霞（はるがすみ）」と表現されるように降り注ぐ日差しも柔らかく、空や景色もぼんやりとした色に見えることも影響しているでしょう。同じような気温の秋とは感じ方がずいぶん違いますね。季節による色の見え方には、皆さんを困らせるあの「厄介者」が関係しているかもしれません。

晴れた日の空や綺麗な水が青くみえるのは、空気や水の分子が青色の光だけを散乱させているため、これを「レイリー散乱」といいます。

反対に空に浮かぶ雲が白く見えるのは水や氷の粒などの大きな粒に全ての色の光がぶつかって散乱し、白く見えます。これを「ミー散乱」といい、春の景色が明るくぼんやりとして見える原因だと言われています。

このミー散乱を起こさせる粒とはいったい何なのか、それは「花粉」や「黄砂」などの空気中の不純物です。どちらも車や洗濯ものを汚し、アレルギーを引き起こすため、春の厄介者としておなじみ一方で「やわらかな日差し」を生み出す役割があったということですね。

皆さんも季節の色について思いをさせてみてはいかがでしょうか。

